

# ヘリ実験相次ぐ



JAXAによるさまざまな試験が行われ、ヘリコプターが滑空する町多目的航空公園(大樹町役場提供)

## 大樹町多目的航空公園

### JAXA「滑走路など理想的」

【大樹】町多目的航空公園(町美成)周辺で、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA、本部東京)によるヘリコプターの試験が相次いでいる。20日までの3日間で、「ホバリングディスプレイ」の評価試験が終了。今月末までさらに2つの試験が行われる。実験関係者は「飛行機などが離着陸しない滑走路や広いスペースが、実験には非常に適している」と話している。(松村智裕)

同公園は今季、9月末から10月初旬まで行われた騒音軽減関連の実験を皮切りに、ヘリコプターを使った飛行試験が今月末まで計5種類実施される。ホバリングディスプレイの試験では約1時間の飛行を3日間で計4回行

め、今後実験を行う場合も大樹が理想的」と話す。ヘリコプターは周囲への騒音などもあるが、同公園を管轄する町総務企画課によると「周辺住民は実験に理解があり、協力的」という。23日から宇宙往還システムの自動着陸技術を蓄積するための「リフティングポティ飛行実験」やGPS(全球測位システム)信号に似た信号を発信する「ニューライト」の試験が行われている。町とJAXAとのつながりは深く、今後も各種実験の舞台となりそうだ。